

平成26年度当初予算 施策 取組概要

262 生涯学習の振興

26201 学びあう場の充実 (環境生活部)

26202 地域と連携した社会教育の推進 (教育委員会)

(主担当部局：環境生活部)

県民の皆さんとめざす姿

県民の皆さんの多様な学習ニーズに応えることができる学びの場や機会が、さまざまな主体の力を合わせた活動により数多く生み出され、県民の皆さんが楽しく学びながら、自らの知識や経験を生かして積極的に活動しています。

平成27年度末での到達目標

これまで自己の関心やライフスタイルにあった学習機会を得られなかった県民の皆さんが、容易に自己のニーズにあった学習情報を得ることができ、気軽に学びの場や機会を利用しています。

また、これまで学習活動を行ってきた県民の皆さんも、より高度な知識や技術を習得し、学んだ成果を生かす機会を得ています。

県民指標						
目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
参加した学習活動に対する満足度		72.0%	74.0%		75.5%	77.0%
	70.2%	71.8%				
目標項目の説明と平成26年度目標値の考え方						
目標項目の説明	県立の図書館、博物館、美術館、斎宮歴史博物館および生涯学習センターが実施した展覧会、講座・セミナーにおけるアンケート調査で、講座の内容等について、「満足している」と回答した人の割合					
26年度目標値の考え方	平成27年度の目標達成に向け、平成26年度は、新県立博物館の開館による記念イベントの実施やさまざまな学習機会を提供することにより向上を図ることとし、目標値を75.5%に設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
26201 学びあう場の充実 (環境生活部)	県立生涯学習施設の利用者数		655,000 人	667,000 人		930,000 人	855,000 人
		636,972 人	700,446 人				
26201 学びあう場の充実 (環境生活部)	「協創」による博物館づくりへの参加者数		330 人	350 人		450 人	550 人
		286 人	324 人				

基本事業	目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
26202 地域と連携した社会教育の推進（教育委員会）	社会教育関係者ネットワーク会議への参加者数		110人	140人		170人	210人
		72人	132人				

進捗状況（現状と課題）

- 三重県総合博物館は、平成26年4月の開館に向けて、基本展示の工事や企画展の準備を進めるとともに、開館1年前イベントの実施や参加型のMMM（みえマイミュージアム）プロジェクトにおける「思い出ミュージアム」などの取組を展開するほか、企業からの寄付金やパートナーシップ、事業連携に向け、企業への働きかけを行っています。引き続き、より多くの参加・連携が得られるよう取組を進めるとともに、公募により決定した愛称などを活用した集中的な広報宣伝を実施する必要があります。
- 県立図書館は、改革実行計画「明日の県立図書館」に基づき、アクションプログラムを4月に公表し、より充実したサービスを多くの県民・関心層に向けて提供することに努めています。今後も多様化する県民のニーズに合った図書館サービスを全県域に展開していく必要があります。
- 県立美術館は、アジアの女性アーティスト展や動物をテーマにした彫刻展を開催するとともに、参加体験型の事業の実施などにより、幅広い年齢層の方々の来館がありました。引き続き、所蔵品等の一層の活用を図りながら、多様な県民の関心に応えることができる展示、普及活動に取り組む必要があります。また、施設・設備が老朽化していることから、計画的な改修・修繕を実施する必要があります。
- 斎宮歴史博物館では、遷宮にちなんだ講演会や、連携協定を締結した奈良県・島根県との共催によるシンポジウム等の実施に向けて取り組んでいます。今後、さらに県民の皆さんに郷土の歴史的・文化的資産への関心を深めていただけるよう、歴史体験事業のプログラムの拡充などを図る必要があります。
- 生涯学習センターは、県内博物館と連携した「見る知る巡る！みえミュージアムセミナー」を4館から6館に拡大して実施するなどの取組を行っています。今後も引き続きさまざまな学習機会の提供により多くの学習情報の発信を行っていく必要があります。
- 子どもたちに本物の文化体験の機会を提供する文化体験パートナーシップ活動推進事業は、申込数がすでに目標の50プログラムに達し、受講者からも大変好評を得ています。今後、プログラムメニューの充実を図るとともに、活動を支える人材の育成に取り組む必要があります。
- 社会教育委員の会議を開催し、みえの学力向上県民運動における社会教育のあり方について様々な視点から意見をいただきました。さらに、三重県社会教育委員全体研修会など、社会教育関係者による会議を開催し、社会教育の推進について理解を深めました。本年度後半においても、引き続き各会議等で議論を行うとともに、社会教育関係者との連携をさらに進めていく必要があります。
- 青少年教育施設は、集団宿泊研修施設として、自然体験や生活体験の機会の提供を図るとともに、出前講座の実施等、施設外でも創作活動などの指導を行っており、年間の事業目標を概ね達成可能な見込みです。今後は、閑散期における利用者拡大策を講じることにより、利用者数の増加を図っていく必要があります。また、施設が老朽化しており、計画的な改修を行っていく必要があります。
- 子ども読書活動推進会議や庁内会議を開催し、年間活動計画や推進計画について意見交換を行っています。「第三次三重県子どもの読書活動推進計画」の策定に向けて、策定体制や年間スケジュールを設定し、第二次計画の成果と課題の検証を行いました。この検証をふまえ、今後、検証結果に基づき第三次計画の内容を検討していきます。さらに、学校図書館環境整備推進員の配置により、配置校において図書館の環境整備が進みました。

環境生活部

- ・三重県総合博物館は、開館記念行事、多彩な企画展や関連行事のほか、魅力的な講座やワークショップ、観察会などの事業を実施することにより、県内外の多くの皆さんが訪れ、三重の自然と歴史・文化に触れ、学び交流する場を提供します。
- ・県立図書館は、広域ネットワークを形成し、県内図書館の利用拡大を図るとともに、全県域へのサービス、先進的なサービスを提供します。
- ・県立美術館は、施設・設備の適切な維持管理に努めるとともに、県ゆかりの作家を取り上げる特別展示、所蔵品等の一層の活用を図った企画展や、子どもを対象にしたワークショップを開催するなど、多様な県民の関心に応えることができる展示、普及活動に取り組みます。
- ・斎宮歴史博物館は、国史跡東部整備事業の進展を意識した展示・普及活動を実施するとともに、歴史体験事業の受講者の増加に向け、関係者が連携してプログラム拡充に取り組んでいきます。
- ・生涯学習センターは、市町や学校等との連携により、魅力ある講座の開催やアウトリーチ事業など、さまざまな学習機会を提供するとともに、三重県生涯学習情報提供システムの運営を行い、多様で魅力ある学習機会を提供します。

教育委員会

- ・各地域における社会教育のさらなる推進のため、行政、社会教育関係者を対象とした全県ネットワーク会議を実施し、講演会や交流会等を行うとともに、各市町社会教育主事等行政職員、社会教育委員等を対象に研修及び県内各地における情報交換を行い、それぞれが果たす役割について理解を深めていきます。
- ・多様な体験活動の機会を提供するために、鈴鹿青少年センターと熊野少年自然の家等の社会教育施設間の連携を密にして、利用者サービスの向上に向け、さらなる協力体制を構築していきます。
- ・「第三次三重県子ども読書活動推進計画」を策定し、その計画に基づき、家庭・地域・学校がそれぞれの役割を果たしながら、社会全体で子どもの読書活動を推進することができるよう、推進体制の整備と広報啓発活動の充実に努めます。

主な事業

環境生活部

- （新）総合博物館展示等事業【基本事業名：26201 学びあう場の充実】
予算額：(25) ー 千円 → (26) 169,983千円
事業概要：三重県総合博物館の開館にあわせて開館記念企画展や各種団体・企業との交流展を開催するとともに、三重の自然と歴史・文化に関する情報受発信や資料の閲覧、学習交流プログラム、レファレンスなどの機会の提供及び地域との連携によるアウトリーチ活動を展開します。
- 学びの拠点活用支援事業【基本事業名：26201 学びあう場の充実】
予算額：(25) 3,327千円 → (26) 4,196千円
事業概要：平成22年度に県立図書館が策定した改革実行計画に基づき、市町立図書館等の職員を対象にした研修やさまざまな主体と連携した講座、展示等を実施することにより、全県域・全関心層に向けて先進的で幅広い図書館サービスを提供し、三重県全体の図書館サービスの向上をめざします。

●美術館展示等事業【基本事業名：26201 学びあう場の充実】

予算額：(25) 62,973千円 → (26) 64,329千円

事業概要：熊野古道世界遺産登録10周年にちなんだ企画展や、現在活躍中の県ゆかりの若手作家を紹介する特別展示など、魅力的な展覧会を開催するとともに、美術講演会やギャラリートークなどの教育普及活動に取り組みます。

●齋宮歴史博物館展示・普及事業【基本事業名：26201 学びあう場の充実】

予算額：(25) 10,547千円 → (26) 11,618千円

事業概要：特別展「伊勢と熊野の歌（仮称）」など、齋宮跡の研究成果をふまえた展覧会を開催するとともに、歴史講座や出前講座を実施するなど、本県の古代文化への理解を促進します。また、地域と連携して県内外に齋宮の魅力をアピールします。

●生涯学習センター費【基本事業名：26201 学びあう場の充実】

予算額：(25) 13,506千円 → (26) 14,330千円

事業概要：多様化・高度化する県民の生涯学習ニーズに応えるため、高等教育機関や博物館、美術館等と連携したセミナーを実施するとともに、市町の生涯学習や地域づくりを支援するための研修会を開催します。

●豊かな体験活動推進事業【基本事業名：26201 学びあう場の充実】

予算額：(25) 13,553千円 → (26) 12,048千円

事業概要：県立美術館、齋宮歴史博物館及び生涯学習センターにおいては、文化芸術に対する感性を育み、本県の文化の継承、発展につなげるため、次世代を担う子ども等を対象に参加体験型の学習機会を提供します。

教育委員会

●社会教育推進体制整備事業【基本事業名：26202 地域と連携した社会教育の推進】

予算額：(25) 8,821千円 → (26) 1,168千円

事業概要：社会教育関係者を対象とした全県ネットワーク会議を実施し、講演会や交流会等を行うことで、各地域における社会教育行政を担う人材を育成するとともに、社会教育関係者同士の情報交換や県内のネットワークの形成を図っていきます。

●鈴鹿青少年センター事業【基本事業名：26202 地域と連携した社会教育の推進】

予算額：(25) 68,248千円 → (26) 85,851千円

事業概要：青少年に自然に親しんでもらい、主として集団宿泊研修を通じて、心身ともに健全な青少年を育成するため、鈴鹿青少年センターを運営します。また、指定管理者による管理運営により、施設利用者の拡大と社会教育の普及・振興を図り、効率的な管理運営を行います。

●熊野少年自然の家事業【基本事業名：26202 地域と連携した社会教育の推進】

予算額：(25) 42,360千円 → (26) 65,258千円

事業概要：優れた自然環境の中で集団生活指導を行うことにより、心身ともに健全な青少年を育成するため、熊野少年自然の家を運営します。また、指定管理者による管理運営により、施設利用者の拡大と社会教育の普及・振興を図り、効率的な管理運営を行います。

●子どもと本をつなぐ環境整備促進事業【基本事業名：26202 地域と連携した社会教育の推進】

予算額：(25) 10,791千円 → (26) 501千円

事業概要：子どもの読書活動を推進するため、「第二次三重県子ども読書活動推進計画」に基づいて、三重県子ども読書活動推進会議の開催、県民を対象とした講演会や読書を考える集い、市町サポートセミナー等を実施します。また、「第三次三重県子ども読書活動推進計画」を策定し、社会全体で子どもの読書活動を推進することができるよう、推進体制の整備と広報啓発活動の充実に努めます。